

地域理学療法学概論 第7回 2006年7月13日

地域理学療法の将来展望

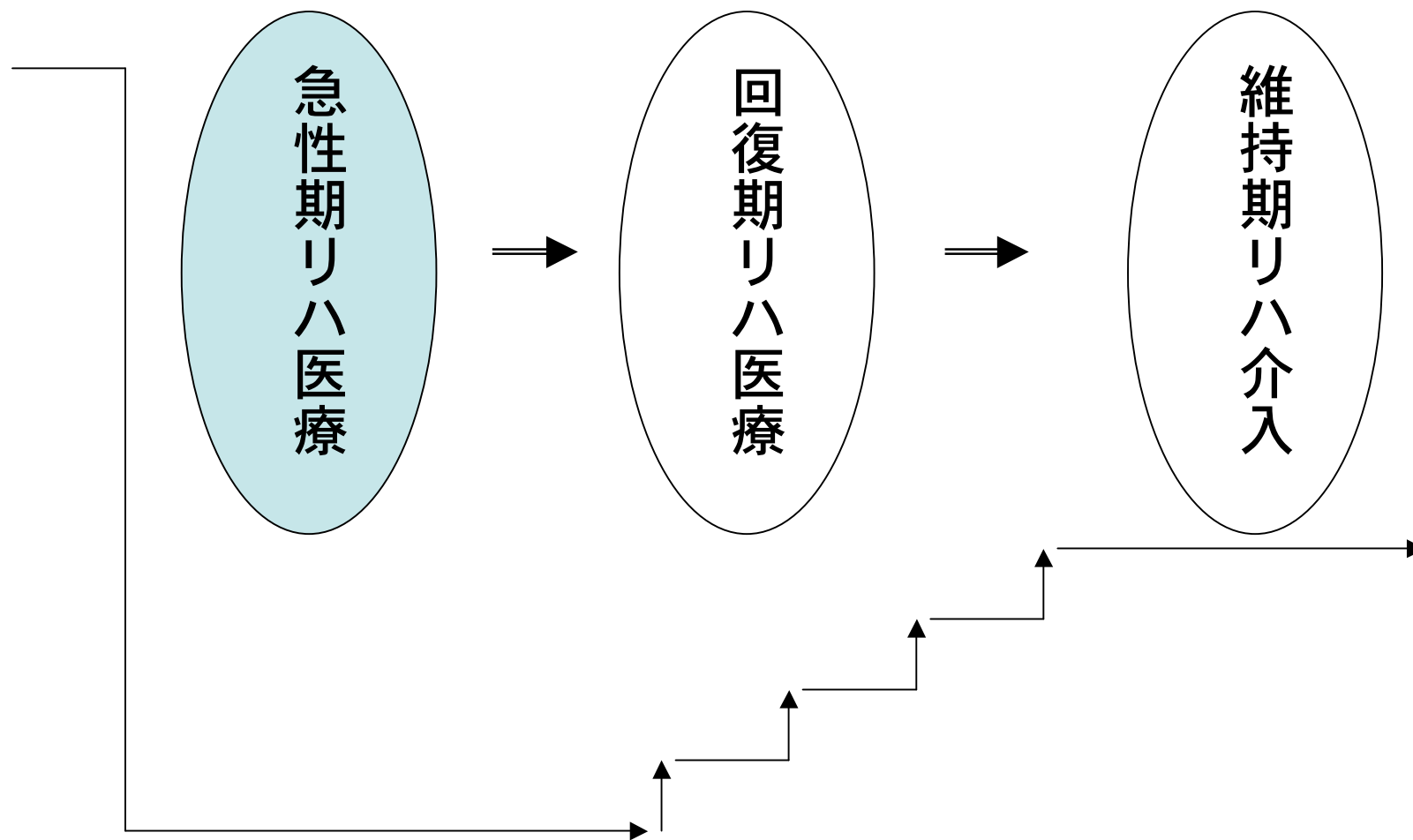
— 介護保険制度の見直しと診療報酬制度の改正から —

黒木 裕士

医療保険におけるリハビリテーション

介護保険におけるリハビリテーション

医学的リハビリテーションの時期

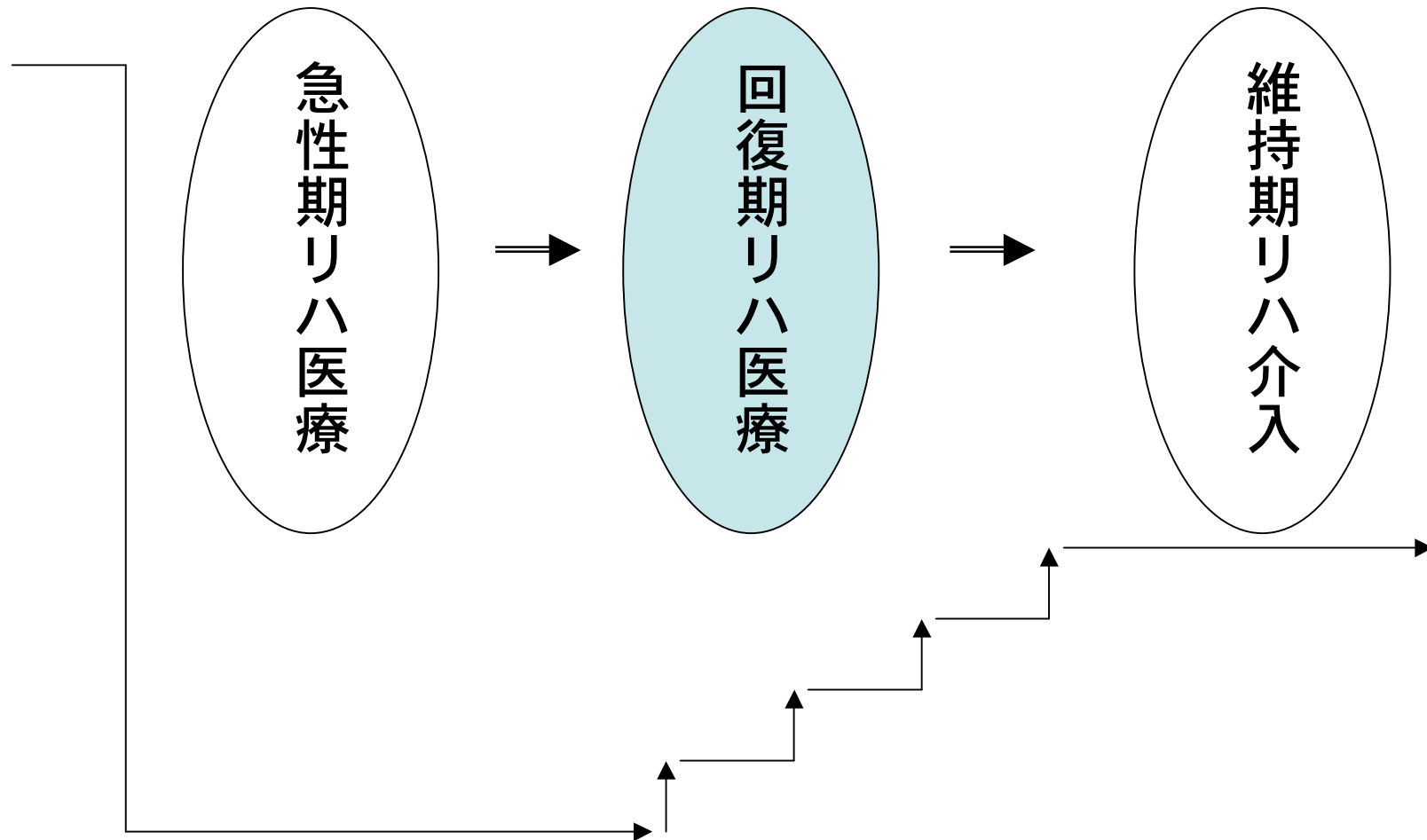


急性期リハビリテーションの内容 ～ 脳卒中を例に～

• 合併症の予防，廃用性症候群の予防

呼吸器系感染症（肺炎など）	→	早期座位
循環器系の機能低下（心機能低下）	→	早期座位
褥創（じょくそう）の予防	→	体位交換
関節拘縮	→	他動運動／自動運動
筋萎縮	→	自動運動
起立性低血圧	→	早期座位／早期立位
骨粗しょう症	→	早期座位／早期立位

医学的リハビリテーションの時期



回復期リハビリテーションの内容 ～ 脳卒中を例に～

- 動作能力の向上

基本動作（起居動作）、起立、歩行の練習
車椅子練習、移乗動作練習、日常生活動作練習
家屋改造（住宅改修）への助言
言語聴覚療法、利き手変換練習 など

平均在院日数の短縮

一般病床； 20.0日 精神病床； 330.3日

結核病床； 79.5日 療養病床； 176.2日

回復期リハビリテーション病棟

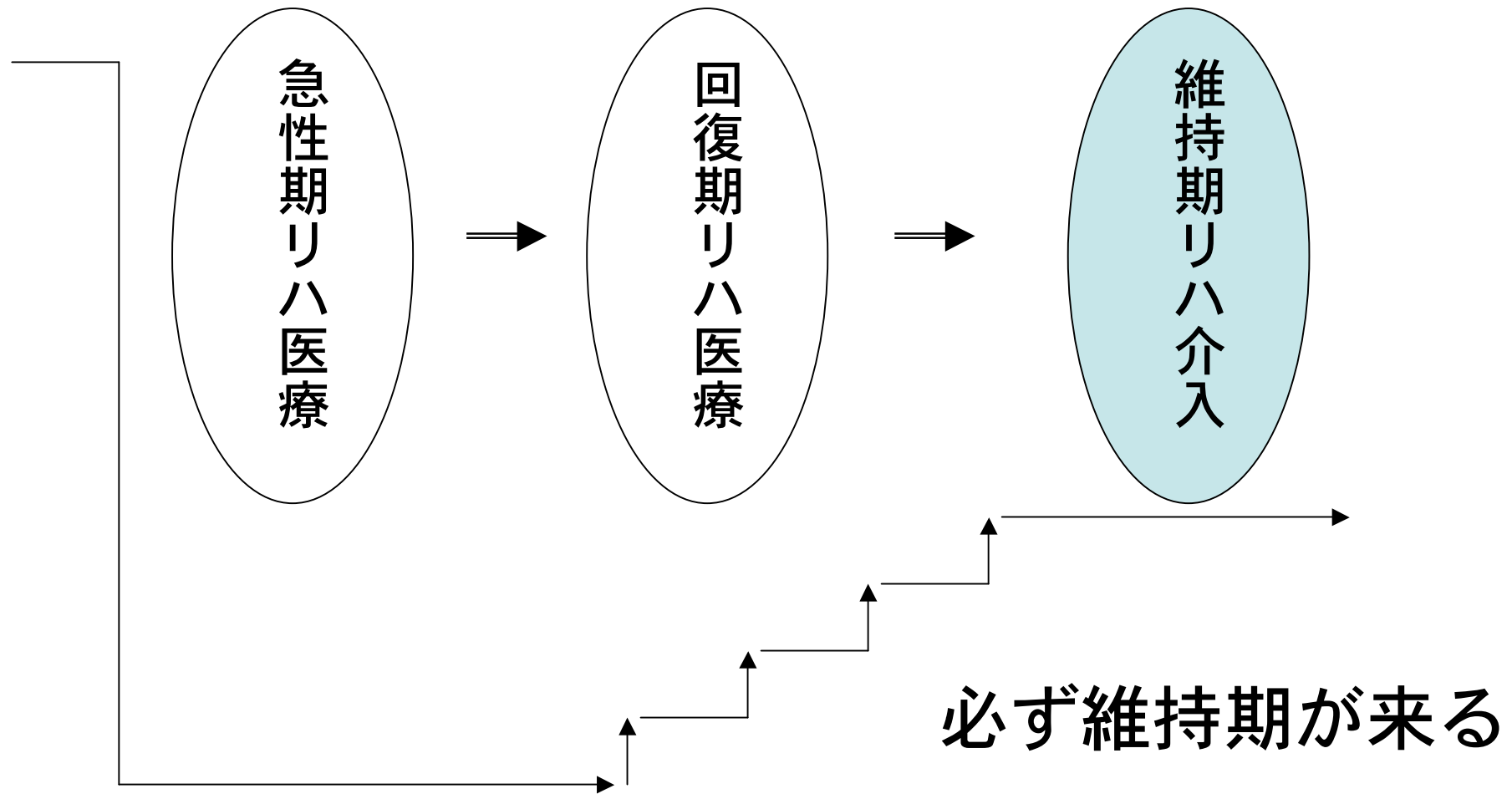
3ヶ月程度の集中的医学的リハビリを実施（一般病床または療養病床）

いずれは地域社会の中で生活する



病院で完結しないリハビリテーション

医学的リハビリテーションの過程



2004年9月15日の発表

- 65歳以上人口は2484万人
- 高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の比率）

19.5%



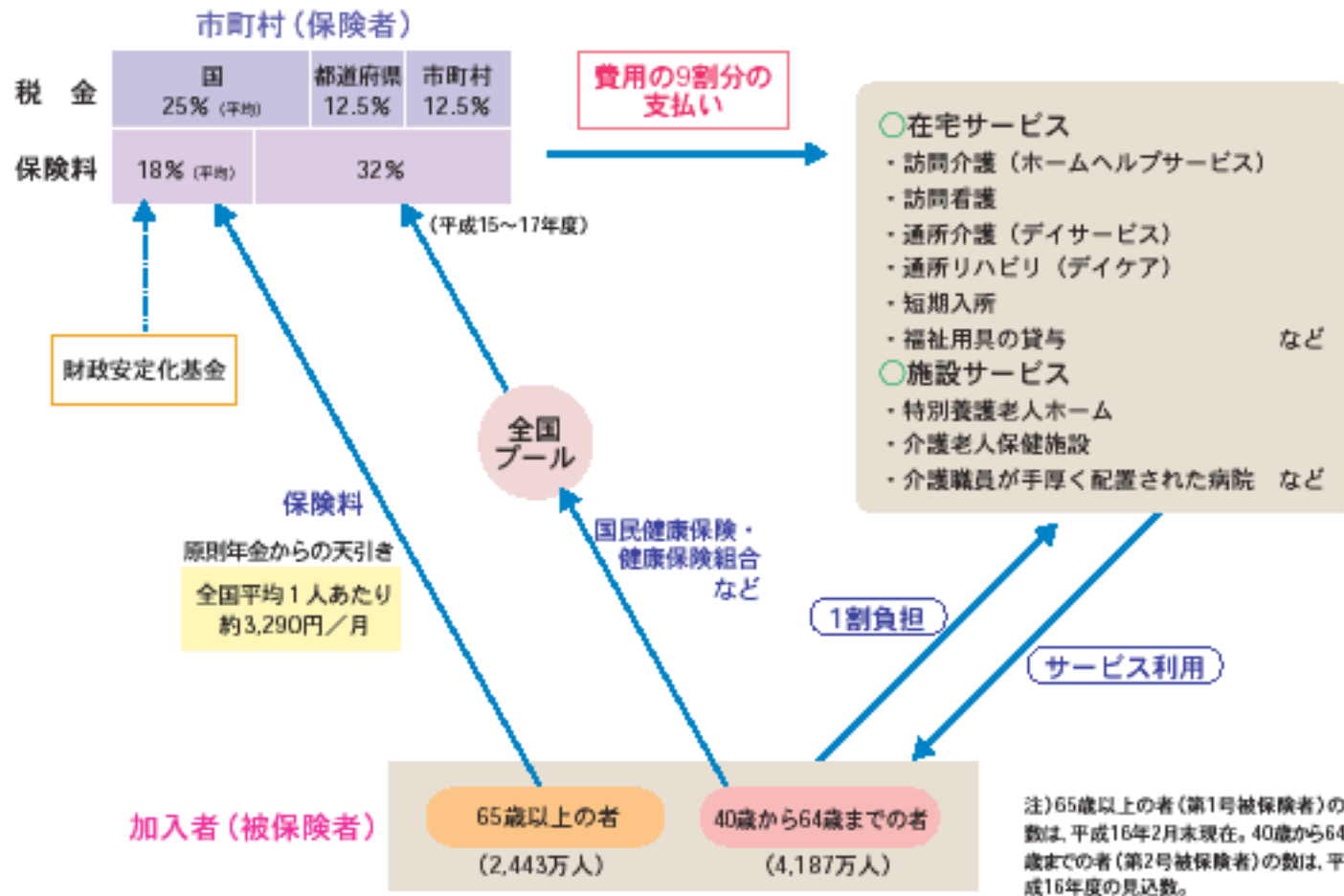
2005年9月15日の発表

- 65歳以上人口は2,556万人
- 高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の比率）

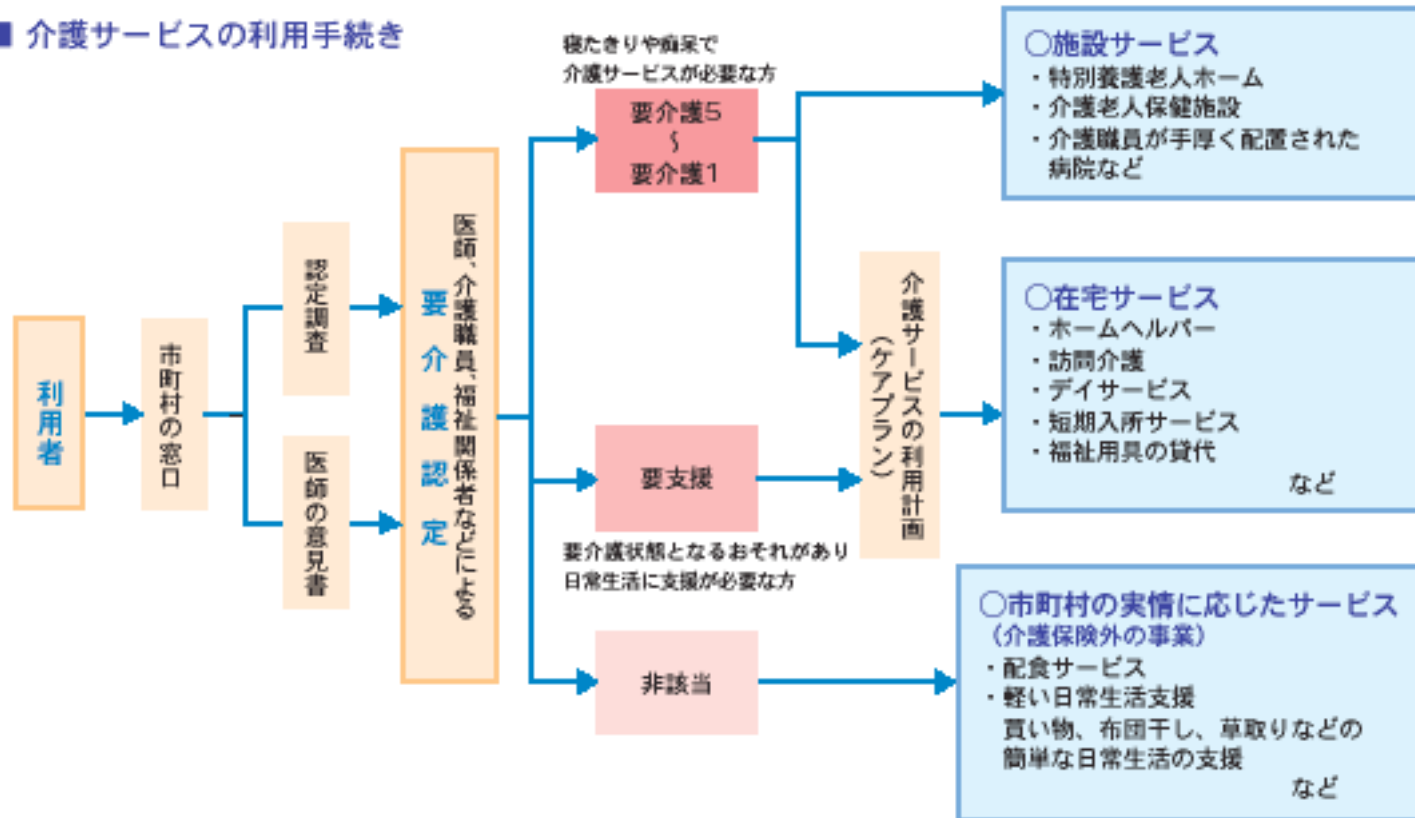
20.0%

介護保険におけるリハビリテーション

介護保険制度の全体概要



■ 介護サービスの利用手続き

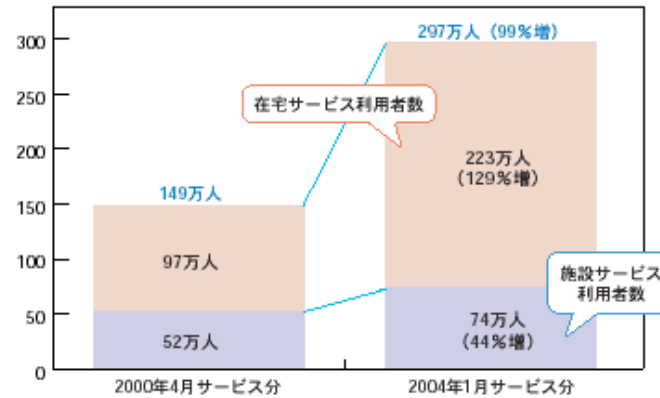


サービスの利用者が大きく伸びている（スタート時の約2倍に）。

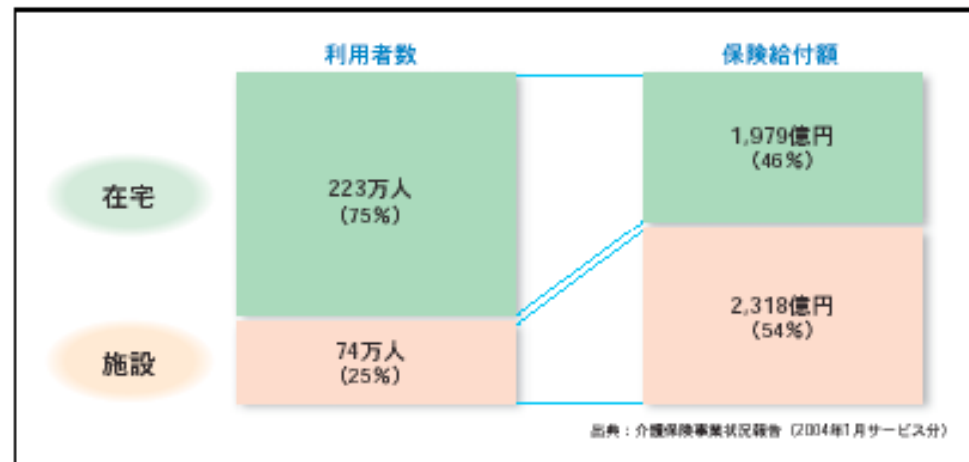
■ 被保険者数と要介護認定者数の推移

	平成12年4月末	平成16年2月末
第1号被保険者数	2,165万人	2,443万人(13%増)
要介護認定者数	218万人	379万人(74%増)

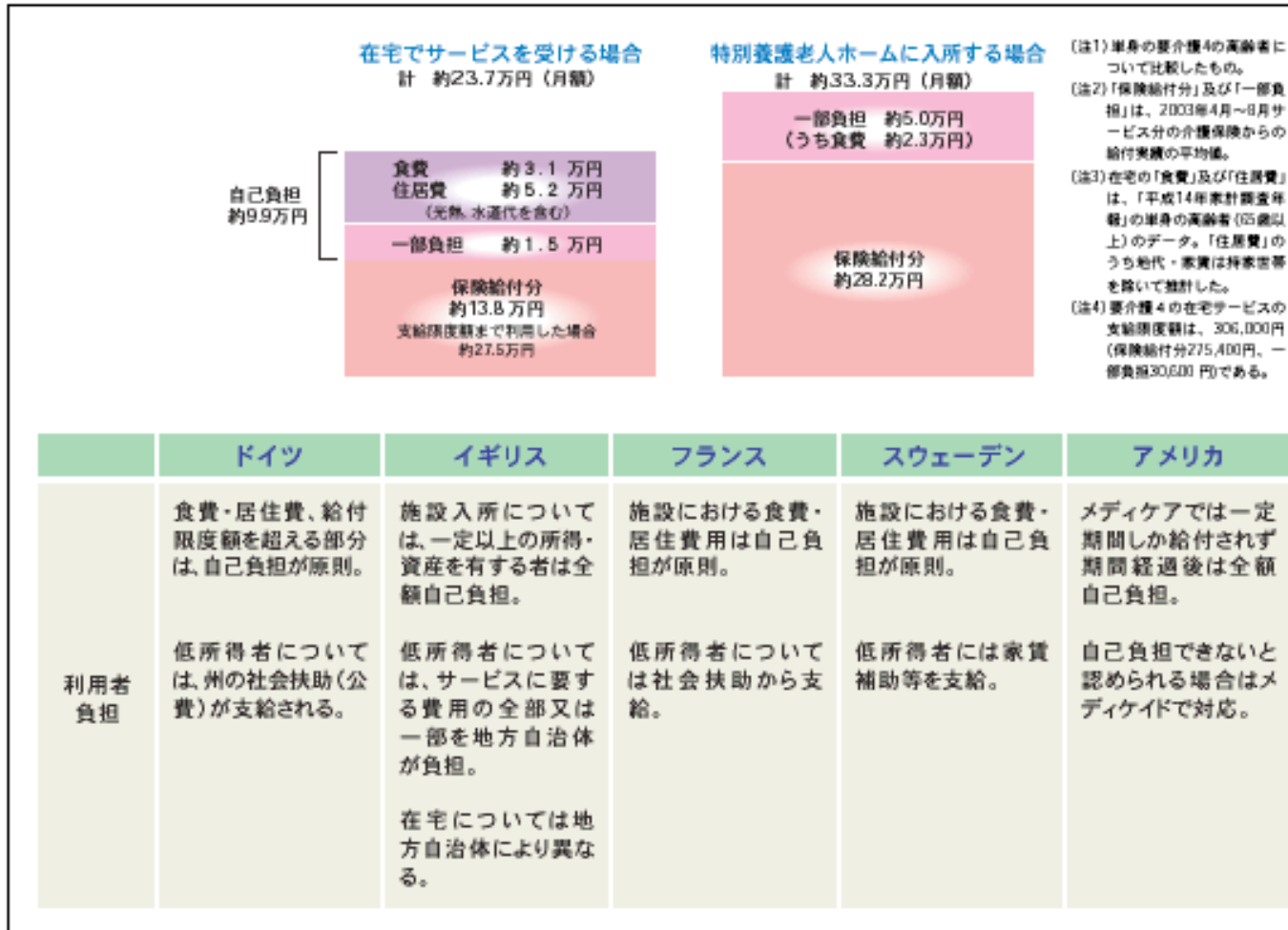
■ 利用者数の推移



■ 在宅・施設の利用者数・保険給付額



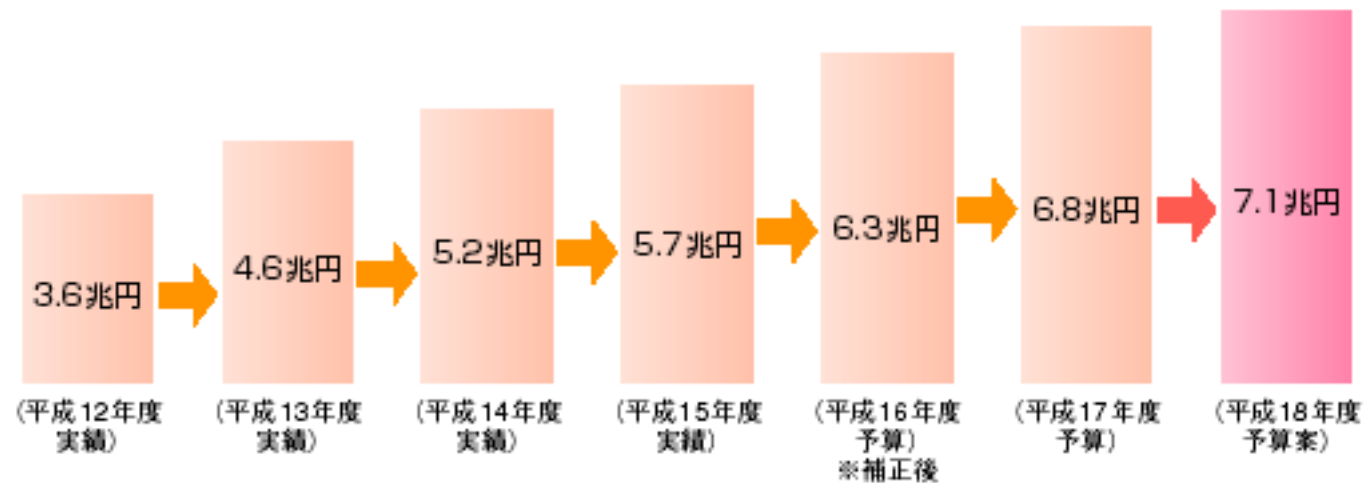
■在宅と施設の利用者負担の比較



II 介護保険財政の状況

制度の定着とともに、介護保険の総費用は急速に増大しています。現行制度のままでは、保険料の大幅な上昇が見込まれ、「制度の持続可能性」が課題となっています。

■総費用の伸び

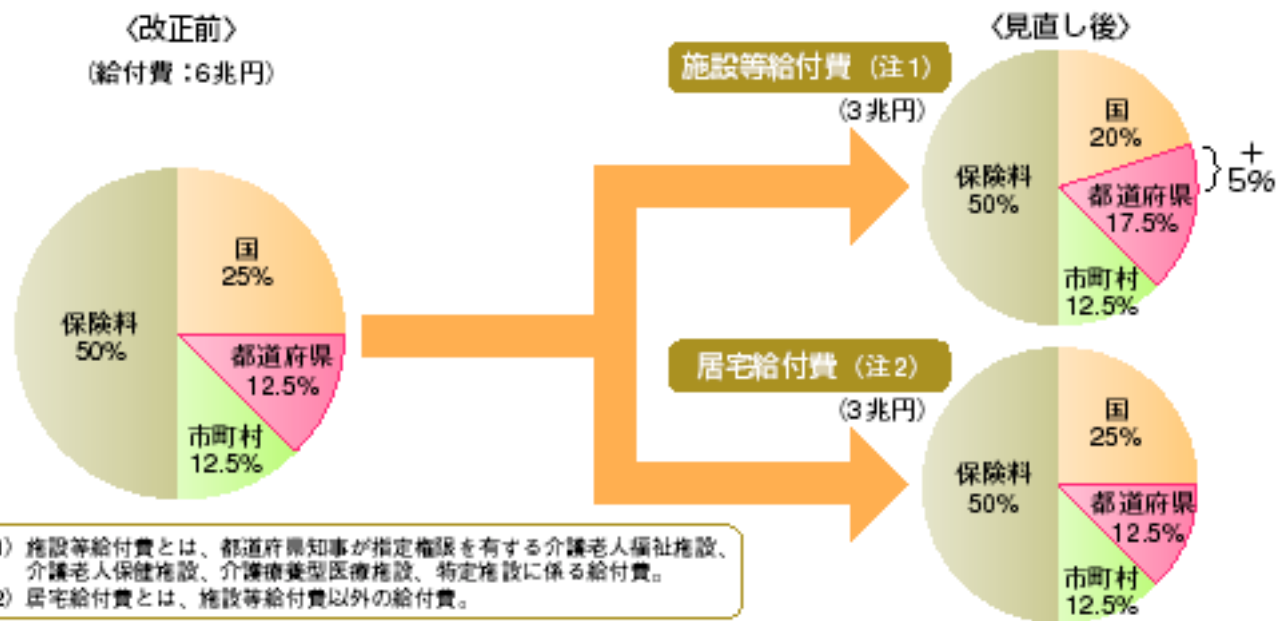


介護保険法（平成9年12月17日法律第123号）

第七条 9 この法律において「訪問リハビリテーション」とは、居宅要介護者等（主治の医師がその治療の必要の程度につき厚生省令で定める基準に適合していると認めたものに限る。）について、その者の居宅において、その心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために行われる理学療法、作業療法その他必要なりハビリテーションをいう。

12 この法律において「通所リハビリテーション」とは、居宅要介護者等（主治の医師がその治療の必要の程度につき厚生省令で定める基準に適合していると認めたものに限る。）について、介護老人保健施設、病院、診療所その他の厚生省令で定める施設に通わせ、当該施設において、その心身の機能の維持回復を図り、日常生活の自立を助けるために行われる理学療法、作業療法その他必要なりハビリテーションを行うことをいう。

■介護保険施設・特定施設に係る給付費

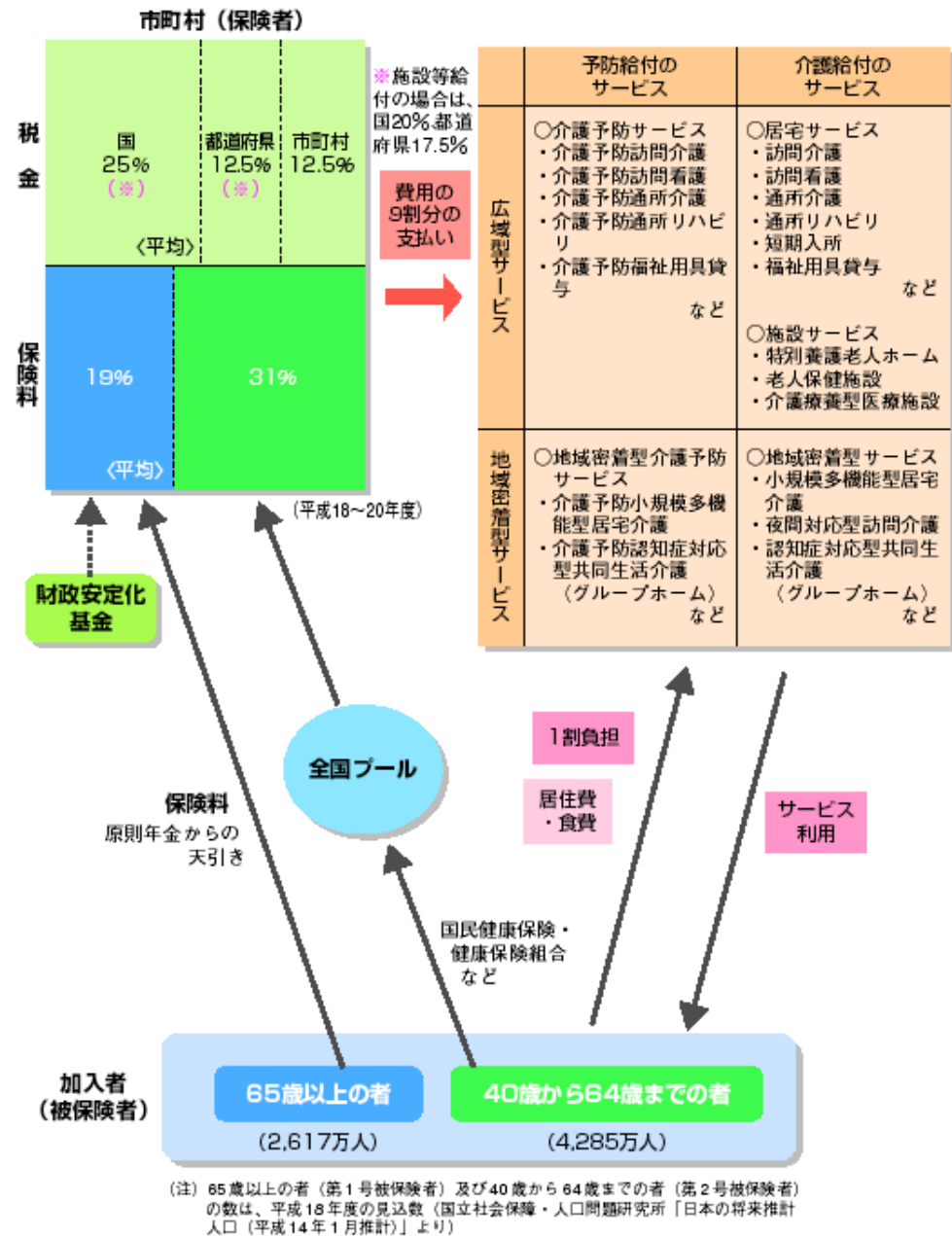


〔注1〕施設等給付費とは、都道府県知事が指定権限を有する介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設に係る給付費。

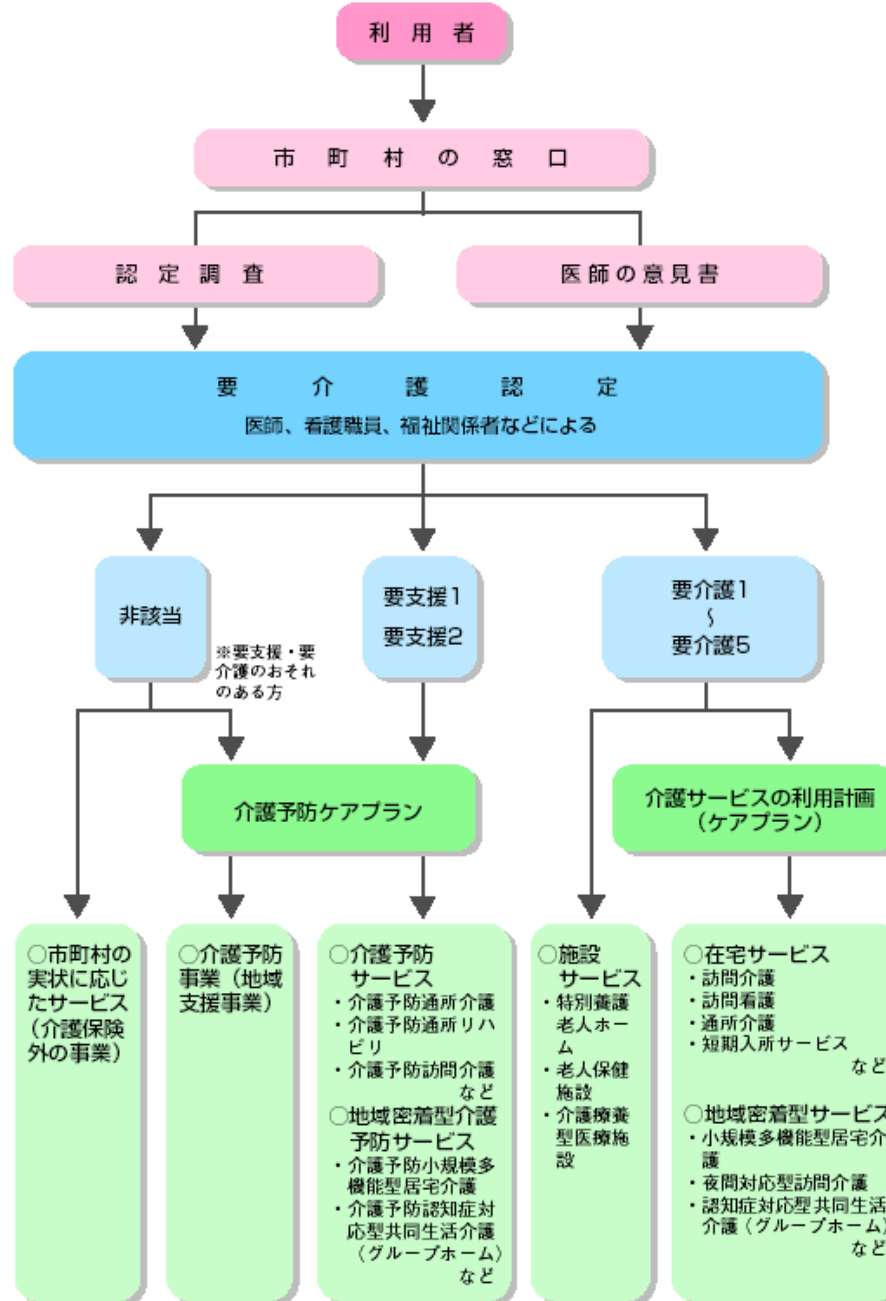
〔注2〕居宅給付費とは、施設等給付費以外の給付費。

※給付費の額は、介護給付費実態調査（平成17年8月審査分）等に基づく推計額。

(参考) 改正後の介護保険制度の仕組み



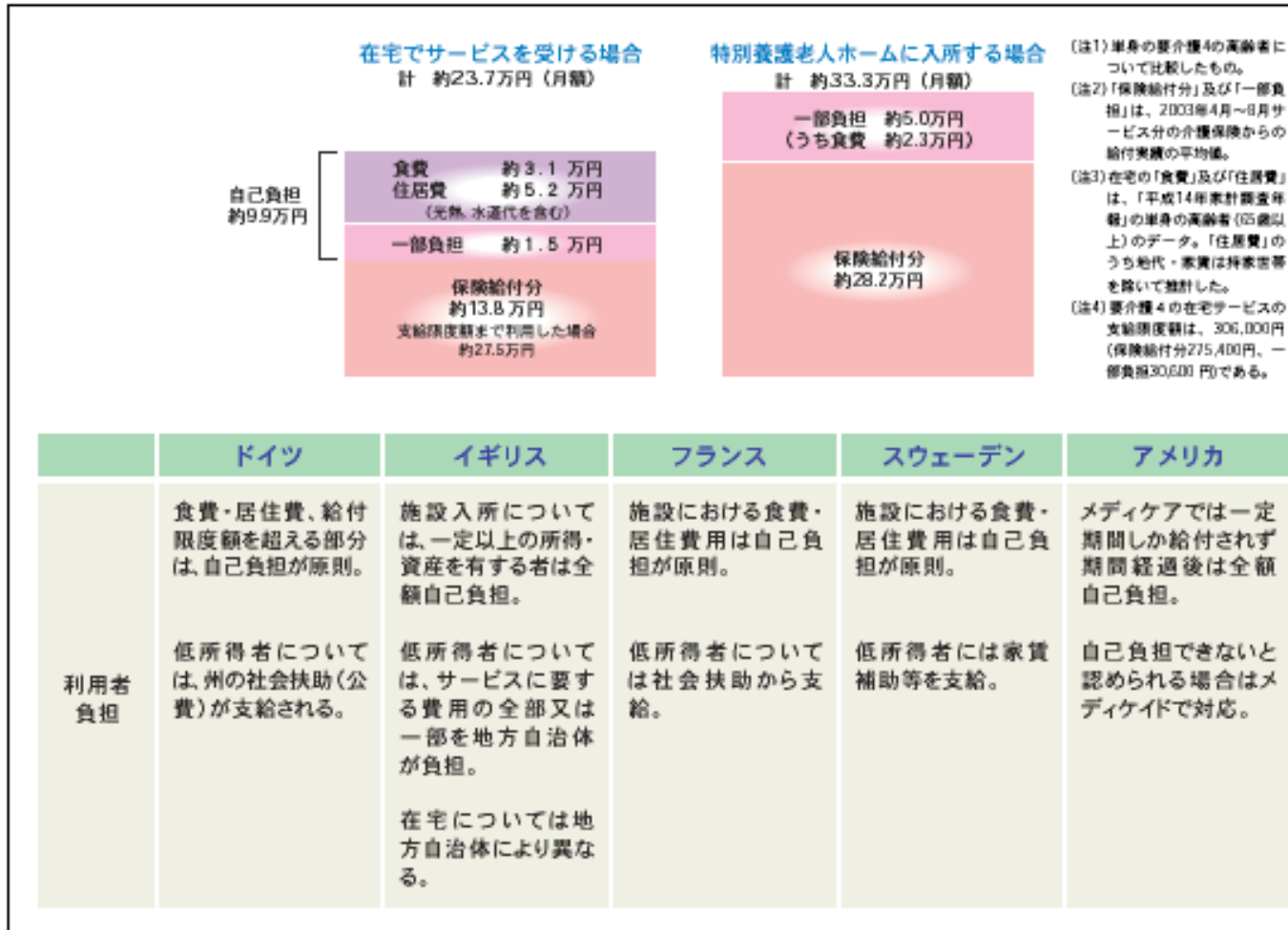
《介護サービスの利用手続き》



リハビリテーション関係診療報酬改 2006/04/01

	脳血管疾患 等リハビリ テーション	運動器リハビ リテーション	呼吸器リハビ リテーション	心大血管疾患 リハビリテー ション
対象疾患	脳血管疾患 脳外傷 など	上・下肢の外 傷・骨折の手 術後 など	肺炎 慢性閉塞性肺 疾患 など	心筋梗塞 狭心症 など
リハビリ料(1)	250点	180点	180点	250点
リハビリ料(2)	100点	80点	80点	100点
算定日数上限	180日	150日	90日	150日

■在宅と施設の利用者負担の比較



課題：

在宅介護サービスが今後増加すると配布資料に示したような事故が増加する恐れがある。事故を未然に防ぐために、どのような策を講じるべきかについて考えよ。

グループディスカッションして本授業終了までにレポートを提出せよ。